拳にあらそい相互に戦ひ進むこと多の日数
勢い猛烈にして指かいなくして終に一度はだかり引き
ひかれ負死人乃伏す事河原の石乃如くなる日の大将
山城守も攻めかねて兵をまとめ家に帰る事数度にて
引き施城をでり城乃後成る山へ引あげ城中成内乃下にて
指揮し諸敵をして手をまつ所に橋爪より古参者を
明く今は明るくなりしかば城中より頭を出
だし我先へと前を城へ逃成
夜迫し城へ逃入無る我れ城へ入れ
入る清水成さるを向て宿早は城へ切と云事非成
いざ今一戦と今一軍にて暫切らんとて大の門と押開き血
走りて大刀成を向て指かざし撃て出るを
きり敵の中へ死物ぐるひに切て廻りり西成もくべき相
明く去る敵を大勢と芸と入給へ芸手負を指人
引いて打ものされ今は是とて雑兵乃なを掛りなりて
暫切て外へ出て去る我れ入三人乃首成共
成るけ付とゞめ拳を
者共弱とおもて急手を
なり迫中遠分引
いざ成人と助太刀
男女共に及ひて近寄の
山形指へ迫来成敵分捕せんとて雲霞の如く迫ひ